

参考資料歴代鍼灸祭講演演題

第21回 2000年5月14日

- 演題1 「鍼灸の歴史」 小曾戸洋 (北里研究所東洋医学総合研究所医史学研究部部長)
- 演題2 「お灸への思い」 富士治左衛門 (釜屋もぐさ社長)

第22回 2001年5月20日

- 演題1 「新設したはりきゆうミュージデムについて」 森秀太郎 (学校法人森ノ宮医療学園名誉理事長)
- 演題2 「世界にはばたく鍼灸」 後藤修司 (学校法人後藤学園東京・神奈川衛生学園専門学校理事長)

第23回 2002年5月19日

- 演題1 「現代鍼灸と杉山検校の業績について」 高橋省造先生 (東洋はり医学会副会長)
- 演題2 「中国古代医師の説話」 内山知也先生 (筑波大学名誉教授)

第24回 2003年5月18日

- 演題1 「こころの病と鍼灸治療」 首藤傳明先生 (日本伝統鍼灸学会会長)
- 演題2 「五行について」 中村璋ハ先生 (駒沢大学名誉教授)

第25回 2004年5月18日

- 演題1 「治療家の手を考える」 形井秀一先生 (筑波技術短期大学教授)
- 演題2 「医聖田代三喜」 村山吉廣先生 (早稲田大学名誉服)

第26回 2005年5月29日

- 演題1 「中国の伝統医学と古典学」 林克先生 (大東文化大学教授)
- 演題2 「サルートジェネス (健康創成論) と鍼灸治療」 永田勝太郎先生
(浜松医科大学保健管理センター講師・附属病院心療内科医療・WHO 心身医学・精神祐理学教授)

第27回 2006年5月21日

- 演題1 「漢詩にみる中国の医薬の心」 石川忠久先生 (財団法人斯文会理事長・中国警灸顧問)
- 演題2 「深谷灸を語る」 新聞英雄先生 (深谷伊三郎長男／音楽家)

第28回 2007年5月21日

- 演題1 「漢字・漢晋吾の話」 田部井文雄先生 (財団法人斯文会理事)
- 演題2 「例えば腰痛の積聚治療」 小林詔司先生 (積聚会会長)

第29回 2008年5月18日

- 演題1 「体や病に関わる漢字について」 加藤道理先生 (財団法人斯文会理事)
- 演題2 「沢田流太極療法による鍼灸臨床」 山田勝弘先生 (積聚会会長)

第30回 2009年5月17日

- 演題1 「周易本義を語る」 中村璋ハ先生 (財団法人斯文会参与・駒沢大学名誉教授)
- 演題2 「刺さない鍼(鍹鍼)の実技と解説」 金古英毅先生 (伝統鍼灸学会常任理事)